

学校教育課だより

かけはし

平成二十七年を迎えて

「御殿場の教育の今」

教育長 勝又 将雄



昨年度末、感動的な卒業式を終え、三十日に一抹のさみしさを覚えた離任式。そして、気持ちを切り替えて迎えた新年度の着任式。緊張の中に喜びあふれる四月一日を迎えた新規採用者の皆さんは、本当に輝く目をしていました。春を感じつつ、平成二十七年の教育活動がいよいよ始動しました。

新鮮さに気持ちを新たにしました。保護者だけでなく、地域代表の来賓の皆様にもその初々しい子どもたちの姿を、「儀式」としての入学式の姿で見ていただきました。この子どもたちの姿から、集団生活を送り、一年間の「確かな成長」を意識した幼稚園、学校教育の実践。今年度の幼稚園、学校教育に期待することの原点です。家庭教育を基盤として、素直でたくましい子どもたちの育成、明るく元気な学

学校教育課だより
「かけはし」
【第1号】
平成 27 年
4 月 10 日発行
御殿場市教育委員会



校づくりを意識して（「いい教育」にまい進します。

園長先生、校長先生のお考えになる園・学校経営指針を基に、学年、学級経営の構想を練り、目の前の子どもたちの姿にさらに具体を構築してください。なにより教室にいる先生の存在は大きいものです。謙虚に、真摯に立ち向かい、子どもたちとの「出会い」の新鮮さと、夢や希望に満ちた子どもたちの成長への思いを持つ教師。そして一年間をかけて様々な角度から考え考へ、悩み、楽しみ、一緒に学び、成長していく、それが「信頼」される教師の姿だろうと思います。

人事異動があり、新しいスタッフで幼稚園、学校教育が推進されています。市教委も、学校教育課長をはじめ四課の

課長が交代しています。学校教育課では、三人入れ替わりました。鳥越雅幸学校教育課長と、福島英子主席指導主事と石田善正指導主事です。（事務職のスタッフは別に紹介します。）

また、「教育指導センター」は、さらに充実の体制で進めますが、新しく指導員として教職経験の豊かな方をお迎えしました。土屋英次先生（元御殿場中学校校長、元学校教育課長、元教職員課管理主事）と岩田京子先生（前御殿場小学校長、事務所社会教育課指導主事）の二人です。特別支援教育の豊福和夫先生は、定期勤務でなく時期を集中してのご指導の場を考えています。学校とセンターとの連絡調整を週五日勤務の湯山伸彦指導員が受け持ちます。

放課後の自主参加の研修会『架け橋』も内容新たに継続予定です。

また、力を入れた（市教育フォーラム）の創設と並行して様々な改革を行いました。今回、教育指導センターのブックレット『御殿場の教育の今』を発刊できることを本当にうれしく思います。この数

年は御殿場市の大きな改革に取り組みます。毎年多くの初任者を預かるわけですが、本市で育ち、優秀な教職員となつて各地で活躍されている皆さんを見てみると、こうした本市の取り組み方向は確かなものであると認識しています。よりよい教育環境とは、大人の立場でいえば、子どもたちが学ぶ学び舎の施設整備と教職員の人間環境の両方が相乗効果で醸し出すものだと思います。教育委員会として、教育委員会制度等の教育改革の様々な取り組みはもろろんのこと、学校現場の教育活動の支援をさらに積極的に行い、元気の出る学校教育を、御殿場市を挙げて推進していきたいと考えます。



平成二十七年年度を迎えて

「学び続ける教師とは」

教育部次長兼学校教育課長兼教育指導センター所長



鳥越 雅幸

暖かな日差しとともに、雪解け水をいただいた溪も、少し遅れてぬるみ始めてきます。四月になると、それまで岩の下でじっと耐えていた岩魚や山女たちも時々、水面に顔を出すようになります。

静まり返っていた、学校の校舎に子どもたちの歓声が戻ってきます。学校が動き出す時です。子どもたちがその子なりの期待感をもって登校してきます。黄金の三日間の始まりです。

教師の仕事は、子どもたちの言動の中にある一人一人の思いや願いをその社会的な背景や生活も含めて深く理解することから始まります。

子どもたちの柔らかい胸の内を丁寧と感じ取ろうとする教師のアンテナは、この「子ども理解」の積み重ねで磨か

れていきます。そうして、教師の子どもの見方、「子ども観」が確立されていくのだと思います。

まずは、今、目の前にいる子どもたちに向き合い、「子ども理解」から始めたいものです。

「学び続ける教師」という本に「真鯛が わたしをじつと見つめてる 人の鮮度を測る目つきで」という短歌が掲載されていました。店頭に並んでいる鯛を見たときに、実は自分が鯛に見られているように感じたのでしょうか。鯛が、鮮度が落ちていく人には食べられたくないと感じているのでしょいか、今の自分が見透かされているように感じて、どきっとしたのでしょうか。

この短歌の「真鯛」を「子ども」に、「人」を「教師」に置き換えたらどうなるでしょうか。

「子どもが わたしをじつと見つめてる 教師の鮮度を測る目つきで」

教師としての鮮度を保つためにはどうしたらよいのでしょうか。人としての感性を磨いたり、自分の指導を不断に見直したり、学び続けることで、鮮度が保たれるのではないのでしょうか。

三月から四月は、教師にとっても、一年間の振り返りから、新たな一歩を踏み出す時です。子どもたちの期待感が引き出され、所属する学級が一人一人の子どもたちにとって「いたい場所」であってほしいと思います。一年間、よろしくお願ひします。



平成二十七年年度

御殿場市教職員着任式

四月一日(水)に平成二十七年年度の御殿場市教職員着任式が御殿場市民会館小ホールで開催されました。市外からの転入者、二十八名、新規採用教職員二十六名が、御殿場市の教職員の仲間入りをしました。式の中で、転入者から、南中学校 滝口盛治校長先生、新規採用教職員からは、原里小学校、遠藤紗帆教諭が代表であいさつを行いました。

【転入者代表挨拶】
南中学校
滝口 盛治 校長



本日は、公務も多用な中、福祉文教委員長 高橋利典様

をはじめとしたご来賓の皆様、教育委員会の皆様、関係の皆様のご臨席を賜り、転入、新規採用教職員のために、このような盛大な式を開催していただき、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

私たち、二十八名の転入教職員及び二十六名の新規採用教職員は、このたびの人事異動により、御殿場市にお世話になることになりました。自分で学び、みんなで学び、みんなから学ぶをスローガンに掲げ、縦の接続と横の連携を大切に、子どもたち一人一人に、「豊かな感性 確かな知性 健やかな心身」、そして「人との出会いの力、人間力」を育むことを目指している御殿場市。

現代の重要課題である、環境、防災・安全、国際理解等に関する教育を推し進め、「魅力ある学びづくり」「幼・小・中連携・一貫教育」「子どものニーズに応じた特別支援教育」「人間力・社会力を育てる心の教育」を柱とした教育活動を転嫁している御殿場市。

そして、子ども、保護者、地域から信頼される学校づく

りを進めている、御殿場市に
着任できましたことを、大変
うれしく思っております。

同時に、教育の伝統を尊重
しつつ、常に先進的な教育で、
地域をリードしておられる、
御殿場市に着任し、未来に生
きる、かけがえのない子ども
たちを、確かに育てていくこ
との責任の重さも、改めて感
じているところであります。

わたしたちは、子どもたちの
成長に携われる、信頼に応え
る職責を果たすためにも、「教
育の要は授業」「教育は人、学
校は組織」を常に意識し、自
己研鑽に励むとともに、魅力
ある授業づくりや、学んでよ
かった、学ばせてよかったと
思われる学校づくりに取り組
んでまいります。微力ではご
ざいますが、御殿場市の子ど
もたちの健やかな育ちと教育
の推進に、力いっぱい努力い
たしますので、ご指導くださ
いますよう、よろしくお願
い申し上げます。

経験を重ねた者にとっても
新たな任地での勤務は緊張と
不安な気持ちでいっぱいです。
二十六名のフレッシュな新規
採用者ともども、皆様からの
温かなご厚情を賜りますよう、

重ねてお願い申し上げます、簡単
ではございますが、転入の挨拶
とさせていただきます。よろ
しくお願ひ申し上げます。

〔初任者代表挨拶〕
原里小学校
遠藤 紗帆 教諭



新規採用者を代表して、ご
挨拶させていただきます。本
日四月一日をもちましてわた
したち二十六名は御殿場市の
教職員となります。これまで
目指してきた教職員という仕
事に就く学校で、出会う子ど
もたちの姿を思うと大きな喜
びがあります。同時に、子ど
もたちの教育に関わらせてい
ただけることに、教職員とし
ての大きな責任と漠然とした
不安があります。

子どもたちと過ごす時間は
大変大きな意味があると思
います。私自身の学校生活を振

り返ってみますと、とても楽
しく充実した毎日でした。時
に悩むこともありましたが、
クラスメートと出会い共に学
び、上級生と下級生がつなが
ることのできる姉妹学級や地
域の皆様方との交流、事務職
員の皆様、学校に携わる先生
方、そして何より担任の先生
方が見守り支えてくださった
からこそ、今こうしてこの場
に立つことができるのだと強
く感じております。私自身も
子どもたちに自分がかけがえ
のない存在であると気付き、
自ら学び続ける力を伝えてい
きたいと思っております。

この場にいる新規採用者二
十六名の一人一人にも、教職
員を目指してきた理由と、教
育に対する熱い思いがきつと
あることと思っております。目
前の子どもたちをよく見て、こ
れから行う教育に誠意を持つ
て、全力で取り組んでいく所
存です。また、私たちの言動
が常に大きな影響を及ぼすこ
とも忘れてはなりません。人
としての基盤を構築する時期
にある子どもたちと関わる仕
事に就いたことに、大きな責
任を感じています。未来を創
っていく子どもたちが基礎・

基本を身に付け、価値観を形
成する時期でもあると思いま
す。子どもたちの学校生活を
よりよいものにしていくため
に、初心を忘れず丁寧に向き
合っていきたいと思えます。

最初は至らないことが多く
あることと思えます。しかし
決して一人で抱え込むので
なく、教育委員会の方々、校
長先生、様々な先生方のご指
導をいただきながら、子ども
たち一人一人の個性と可能性
を伸ばしていきたいと思いま
す。自分にできることを一つ
一つ積み重ね子どもたちを支
えていくことで、やがて御殿
場市全体がより豊かな市とな
り、人と自然が共生できるよ
う目指して参ります。何より
謙虚さと子どもたちの教育に
携わる方々との関わりを大切
にし、厚い信頼関係を作って
いくために、絶えず研究と修
養に励んで参ります。理想の
教職員となれるよう、皆様方
のご支援とご鞭撻を心よりお
願ひ申し上げます、ご挨拶
とさせていただきます。

学校教育課
スタッフ紹介

学校教育課の平成二十七年
度のスタッフを紹介します。
新たに加わったスタッフは、
写真付きで紹介してあります。
スタッフ一同、よりよい学校
づくりを目指してがんばりま
す。



【主席指導主事 福島 英子】
本年度
新しく学
校教育課
の職員と
なりまし

た。職員の任用事務関係の担
当になりました。よりよい学
校の支援ができるように、が
んばりたいと思えます。また、
学校も訪問させていただきました
と思えます。

【統括 小林 和樹】

学校教育課三年目を迎え、
これまでの経験を活かして何
かを残したいと考えています。
また、今年度から事務方が一
人増えて四人となりますので、
今まで以上に学校目線で充実
した仕事に取り組んでいきたく
と思えます。

【指導主事 長澤 広志】

三年目を迎えました。今年
度の主な担当は特別支援教育、

就学支援、初任者研修、二年次研修になりました。特別支援教育の充実、子どもや保護者に寄り添った就学支援、若手教職員の支援を全力でがんばります。よろしくお祈りします。

【指導主事 小越 隆則】

学校教育課二年目となりました。今年度も主に学籍や研修関係を担当します。先生方に分かりやすく確実な学籍処理と、子ども理解を基盤とした授業づくりの支援を目指し、がんばりたいと思います。よろしくお祈りします。



【指導主事 石田 善止】

本年度高校より学校教育課に勤務します。子どもたちが元気に登校して、安心して学校生活を送れるように努めていきます。生徒指導関係の各種会議や調査、学校訪問などお世話になります。よろしくお祈りします。

【幼稚園指導員 勝又 立雄】
書く、つかむ、走る、回る、

跳ぶ、話す、思いを伝える、当たり前にできると思っていたそれらの言動の動き初め・動き出しの段階はどうなっているのか。興味を持って園訪問をしています。今年度も園応援団ががんばります。

【教育指導センター 指導員 湯山 伸彦】

子どもたちの教育に一生懸命に取り組んでいる若い先生方を精一杯応援していきたいと思えます。教育という仕事に誇りを持ち、子どもの中で、教師として成長していつてくれることを期待しています。



【教育指導センター 指導員 土屋 英次】

今年度から教育指導センターの一員として各学校を訪問させていただきます。教師としての土台を共に研修し、子どもたちが生き生きと輝く学校になるように努力したいと思えます。私の教職経験を基にがんばります。

【教育指導センター 指導員 岩田 京子】



教育指導員を務めさせていただき、ありがとうございました。

先生方のがんばりの向こうに見える子どもたちの笑顔と成長を楽しみに、指導と支援に努めます。自分自身も一緒に学びを深め、成長できる日々になりたいと思えます。

【副主任 小寺 智之】

学校教育課四年目となり、いつの間にか学校教育課では古株に属するようになってしまいました。「アイツは長くいるだけ」と言われないようにがんばっていききたいと思えます。今年度もよろしくお祈りします。

【副主任 勝間田 哲哉】

あつという間に二年目の春を迎えました。今年度は、担当業務も変わることで、初心の学ぶ姿勢を忘れずに、精一杯がんばってまいりますので、引き続き、指導の程、よろしくお祈りします。

【主事 渡邊 真衣】



はじめまして。新規採用職員として今年度

から学校教育課に所属することになりました。まだまだ分からないことばかりで、ご迷惑をおかけしてしまふこともあるかと思いますが、一日でも早く一人前の職員となれるよう努力してまいりますので、よろしくお祈りします。

【教育相談員 遠藤 かほる】

学校現場の少しでもお役に立てればと、子どもたちに教育相談員として関わらせていただいて今年で十三年目になります。子どもたちに寄り添う気持ちを忘れずにがんばっていききたいと思えます。どうぞよろしくお祈りします。

【教育相談員 勝又 和代】



今年度より教育相談員としてお世話になり

ます。まだまだ勉強不足ですが、これまでに学んだことを

生かし、子どもの気持ち、親の思いに寄り添った支援ができるよう努めていきたいと思えます。よろしくお祈りします。

【巡回指導員 瀬戸 祐子】



お世話になりました。本年度は、巡回指導員

として、発達障害がある子どもたちの支援について、先生方と共に考えていきたいと思えます。一人一人に応じた具体的な手立てを工夫できたらと思っています。

【一般事務補助 増田 千鶴子】

今年で四年目になりました。日々五階までの階段がきつくなりしましたが、気力的には、気持ちを新たに引き締めて、学校教育課の中での自分の担当分掌を確実に遂行できるように、がんばります。微力ですがよろしくお祈りします。

